



サイエンスカフェ

cience Café

サイエンスカフェとは ?  
(Science Cafe, Café Scientifique)

九州工業大学情報工学部では、  
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として  
『サイエンスカフェ』を開催しています。

## 第26回 サイエンスカフェ @九工大情報工学部

●日時：2015年 1月16日(金)  
18:00~19:30

●場 所：九州工業大学・飯塚キャンパス  
福利施設2階喫茶 飯塚市川津 680-4

●テーマ：『世界を拡張するデータ圧縮』

●ゲスト：さかもと ひろし坂本 比呂志氏

( 情報工学研究院  
知能情報工学研究系 教授 )

参加費用 **無料** コーヒー・お菓子つき

どなたでも参加いただけます。学校、お仕事、  
買い物帰りなど、お気軽にお越しください。

●申込み 必要 (定員20名)

申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電 話：0948-29-7509 (平日10:00~17:00)

メー ル：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp

一般の方々が科学者と、お茶やコーヒーを飲みながら、気軽に科学について語り合うことで、コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、インド、オーストラリアなど世界各地に広がり、日本では2004年に京都で始められたのが最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を提供しながら、参加者みんなで考えることをとおして、科学への関心と理解を深めようというものです。科学を身近に楽しめるイベントとして注目されています。



### ゲスト紹介

さかもと ひろし

坂本 比呂志氏

情報工学研究院  
知能情報工学研究系  
教授

私たちの身のまわりはたくさんのデジタルデータで溢れかえっており、それを保存したり送信したりする事がだんだん難しくなってきています。この解決策として、不要なデータを捨てる、情報機器を増強するなどが考えられますが、一長一短があります。データ圧縮はこれらの調書を兼ね備えた手法として現在盛んに研究されています。

今回は、データ圧縮の仕組みとそれがどのように社会で応用されているかを紹介します。

